

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第2区分

【発行日】平成28年5月19日(2016.5.19)

【公開番号】特開2016-43389(P2016-43389A)

【公開日】平成28年4月4日(2016.4.4)

【年通号数】公開・登録公報2016-020

【出願番号】特願2014-170139(P2014-170139)

【国際特許分類】

B 21B 27/00 (2006.01)

C 22C 37/00 (2006.01)

【F I】

B 21B 27/00 C

C 22C 37/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成28年3月4日(2016.3.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

圧延用複合ロールの外層材であって、

質量%にて、C:1.8%以上2.5%以下、Si:0%を越えて1.0%以下、Mn:0%を越えて1.0%以下、Ni:0%を越えて0.5%以下、Cr:3.0%を越えて8.0%以下、Mo:2.0%を越えて10.0%以下、W:0%を越えて10.0%以下、V:0%を越えて10.0%以下、B:0%を越えて0.01%未満、残部Fe及び不可避的不純物を含んでいる圧延用複合ロールの外層材であって、

溶融温度が1100より大きい二次共晶炭化物を含んでいる、

ことを特徴とする圧延用複合ロールの外層材。

【請求項2】

質量%にて、Nb:0.01%以上2.0%以下及び/又はTi:0.01%以上1.0%以下をさらに含有する、

請求項1に記載の圧延用複合ロールの外層材。

【請求項3】

外層材表面におけるB濃度の質量%をB(t1)、外層材内面におけるB濃度の質量%をB(t2)としたとき、B(t2)-B(t1)=0.002である、

請求項1又は請求項2に記載の圧延用複合ロールの外層材。

【請求項4】

外層材表面は、MC型炭化物の面積率が7%~15%である、

請求項1乃至請求項3の何れかに記載の圧延用複合ロールの外層材。

【請求項5】

外層材表面は、前記二次共晶炭化物の面積率は1%~6%である、

請求項1乃至請求項4の何れかに記載の圧延用複合ロールの外層材。

【請求項6】

請求項1乃至請求項5の何れかに記載の外層材を外層とし、該外層材の内側に内層又は中間層と内層を具える、

圧延用複合ロール。